

人工内耳スピーチプロセッサのアップグレード指針と新機種保険適用について

2024年6月より破損をしていない機種の交換(アップグレード)について、「医学的に必要性がある」と判断された場合、健康保険が適用されるようになりました。

ポイント 1 対象

旧機種を装用し
静寂下での単語検査の
明瞭度が80%以下

ポイント 2 装用期間

旧機種の使用開始日より
5年以上が経過

ポイント 3 処方基準

新機種を装用し単語検査
正答率が旧機種よりも
8ポイント以上改善

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 人工内耳スピーチプロセッサのアップグレード指針

1. 対象

音声言語をコミュニケーション手段とし、人工内耳を継続的に装用している18歳未満の小児および18歳以上の成人で、現在使用しているスピーチプロセッサの機種（旧機種）で静寂下、C12004を用いた単語検査の明瞭度が80%以下の患者（検査条件は以下の3）に記載。

2. 装用期間

同一のスピーチプロセッサを継続的に装用してから5年以上が経過。

3. 処方基準

音場でC12004を用いた単語検査を用いて、新旧のスピーチプロセッサの比較試験を行う。静寂下、65dB SPLの刺激音を1m離れたスピーカで提示した時の旧機種の単語検査の明瞭度が80%以下のものが、新機種の装用で8ポイント以上の正答率の改善が得られた場合。

4. 診療録への記載必須項目

旧機種名と使用開始日、新機種名、旧機種と新機種の語音聴取の検査結果。



アップグレード指針についての
説明サイト



全難聴

一般社団法人
全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

お問い合わせ先

一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
補聴器・人工内耳部
担当者：小倉
Email: zennancho@zennancho.or.jp